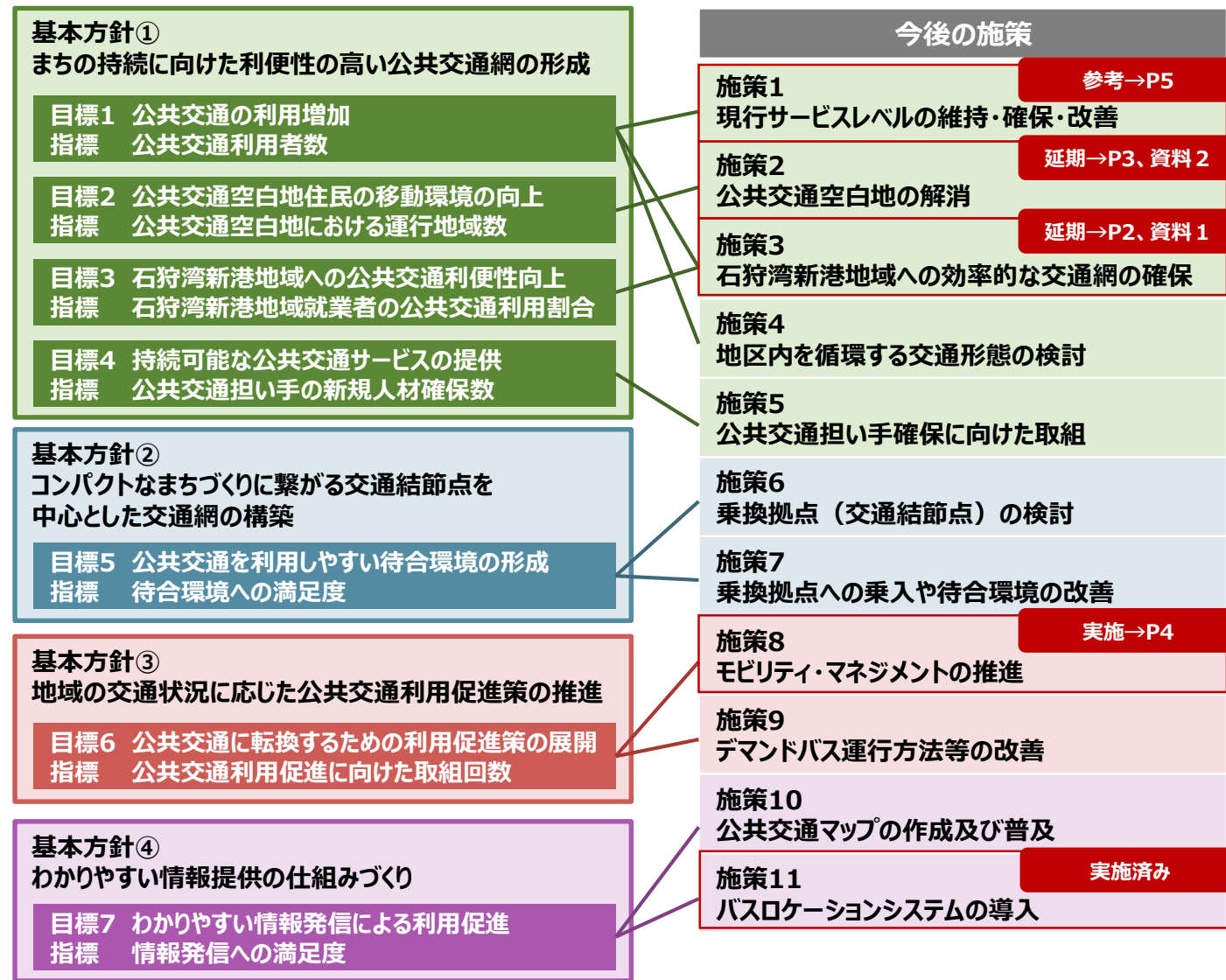




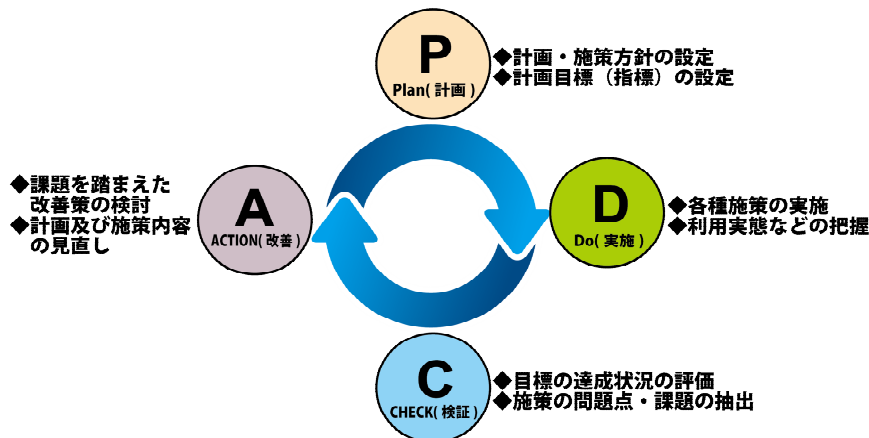
■ 計画の基本方針・目標及び施策

「石狩市地域公共交通網形成計画」で定めた計画の基本方針・目標及び目標を実現するため実施する施策は下記のとおりです。



■ 計画の進行管理

本計画で策定した基本方針及び個々の施策の進行管理については、PDCAサイクルに基づく達成状況の評価を「石狩市地域公共交通活性化協議会」が主体となって実施し、施策に関わる全ての関係者（市民、交通事業者、行政等）が評価結果について共有しながら適宜見直しを行います。



石狩市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進行管理



「石狩市地域公共交通網形成計画」に基づき、令和2年度（11月現在）は下記の実施した。

延期

■ 主な施策の取り組み内容

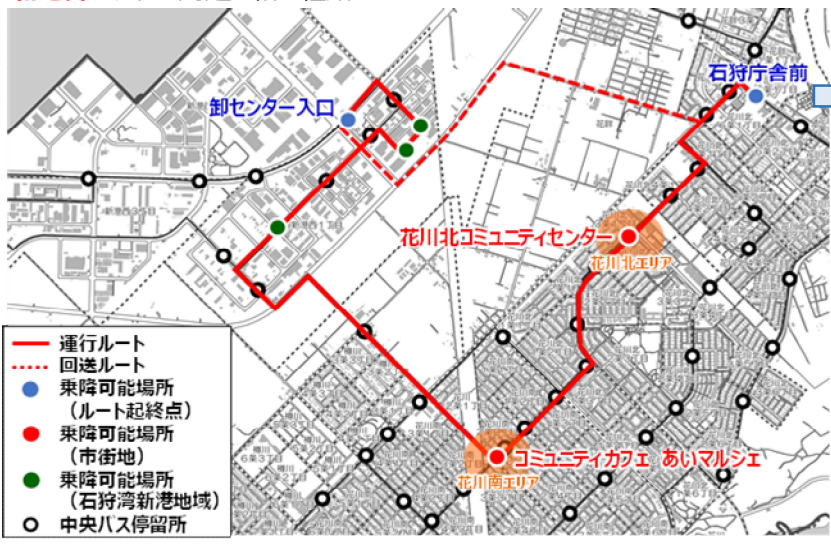
基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策3 石狩湾新港地域への効率的な交通網の確保
施策概要	■ 操業企業のニーズや市民の潜在的な就業ニーズに対応した、新たな交通形態（乗合自動車等）も含めた効率的かつ利便性の高い交通網を確保する。 ■ 石狩湾新港地域内での交通結節点についても検討を進める。
今年度実施状況（経緯等）	◆ 当地域においてニーズに応じた新たな交通システムを検討するため、本年2月から、地域団体の協力のもと、企業に対してニーズ調査を行い、5社約30名の利用者が見込まれていたことから、本年5月にコミュニティバスの実証実験を予定した。 ◆ しかしながら、<u>3月以降新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令されたため、当初予定していた実証実験を延期</u>とした。 ◆ その後、緊急事態宣言の解除や、新生活様式が浸透してきたことから、実験再開を目指して、改めて企業の利用意思を聴取した結果、<u>5社中4社がコロナ禍での実験参加を見送りたいとの回答</u>であった。 ◆ <u>このような状況において実証実験を行っても、公共交通への転換の可能性や、持続可能な運行計画を検討することが難しいと判断し、延期することとした。</u> ※ 予定していた実証実験の詳細については、資料1 参照
次年度以降の予定	□ 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、多様な利用者が確保できると見込まれる場合に再開する。

【実証実験の概要】

▼ 運行経路

多くのバス路線が集中する**石狩市役所**と企業が集積している**協同組合石狩新港卸センター**周辺を結ぶ経路



目指す 効果

- 通勤手段の確保による雇用増加
- 移動手段の拡充による地域活性化

▼ 運行便数・運行時間

パート・アルバイトの方を主な利用者として想定し、過去に実施した新港地域就労者アンケート調査結果の出退社時間の傾向から対象運行便数を8便/日程度を想定しています。

7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
	①	②	③				④	⑤	⑥	⑦	⑧

凡例 ①～③：石狩市役所発 ④～⑧：新港地域発

▼ 運行期間・料金

利用者の意向（利用時間帯、支払意思額等）を調査することを目的に、1～2週間程度の**無償**による運行実験を実施します。

さらに、無償実験の結果を踏まえ、運賃や運行方法を検討し、**有償**による運行実験を実施します。

▼ 新たな交通システムのイメージ





延期

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策2 公共交通空白地の解消
施策概要	■ 公共交通空白地である生振、美登位、北生振、八幡地区や既に有償運送が実施されている厚田区については、地域住民と意見交換を進めて日常的な移動環境（デマンドバス、乗合タクシー、公共交通空白地有償運送、スクールバス活用等）を確保する。
今年度実施状況	◆ 公共交通空白地有償運送が行われている厚田区においては、厚田区地域交通サービス検討委員会にて、あつたライフサポートの会（NPO法人）の存続可否を含めた持続可能な移動手段の確保に向けて地域住民と意見交換を進めた。 ◆ 高齢者の移動手段の確保が最重要課題として要望されている生振地区において、昨年度末に公共交通空白地における移動手段の確保に向けた地域住民との意見交換会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度に延期とした。今年度についても、新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあるため延期とした。 ※ 予定していた「公共交通空白地」における地域住民との意見交換会の実施概要については、資料 2 参照
次年度以降の予定	□ 厚田区においては、厚田区地域交通サービス検討委員会にて、引き続き持続可能な移動手段の確保に向けて議論を進める。 □ 公共交通空白地における移動手段の確保に向けた地域住民との意見交換会については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見て開催する。 □ 法改正を踏まえ、乗り合いタクシーやスクールバスの更なる積極的活用など検討を進める。



項目	施策8 モビリティ・マネジメントの推進
施策概要	■ 公共交通の維持に向けた市民の意識醸成《“住民が公共交通を利用して守る”や“公共交通を利用したい”》を図るため、学校・事業所・特定地区を対象とした地域・世代に応じたモビリティ・マネジメント（乗り方教室、体験乗車会、ワークショップ等）を展開し、取組みを通じて、利用がなければ存続できないといった危機感を地域住民と共有し、公共交通への転換を促す。
今年度実施状況	◆ バスロケーションシステムが石狩市内路線で導入されたことに伴い、利用促進に向けたシステムの周知を広報誌にて行った。 ◆ また、バス通学者の多い市内の高校（石狩南高校・石狩翔陽高校）を訪れ、バスロケーションシステムの周知・普及に向けた出前講座を実施した。
次年度以降の予定	□ 引き続き、システム及び公共交通の利用促進を目指した周知・普及活動（広報誌等）を進めていく。

バスロケーションシステム

北海道中央バス(株)、3/23から石狩市や札幌市内北方面の路線で、バスの運行状況をスマートフォンやパソコンで確認できる「中央バスナビ」のサービスを開始しました。これにより、バスの現在位置・接近・遅延などの情報を確認することができます。使い方や詳細は、中央バス(株)石狩営業所 ☎74・2325へ。

※札幌市内南方面や空港路線バス、都市間高速バスの一部路線は、H31/3/27から運用済み

主な機能

- ▶ 「中央バスナビ」トップの「バス接近情報」からバス種を入力し、系統を選択すると、バスの運行状況が表示され、到着予定などがわかります
- ▶ 地図上で確認ができます
- ▶ 多言語(英語・中国語・韓国語)対応
- ▶ 無料サイトです

バスの現在位置を確認して掌を出られるので便利ですよ！
専用サイト「中央バスナビ」▶

図 企画課交通担当 ☎72・3193

広報4月号

中央バスナビ
**バスロケーションシステム
エリア拡大！**

バスロケーションシステム対象エリア

- 北海道 札幌市
- 新エリア ● 札幌市内
- 新エリア ● 石狩市内
- 新エリア ● 千歳市内
- 新エリア ● 江別市内
- 新エリア ● 石狩市外
- 新エリア ● 都市間高速バス

**3.23 2020 MON
サービス開始！**

利用無料

スマートフォン・タブレット・パソコンに対応

サイト利用方法は書面をご覧ください

中央バスナビ広報チラシ

中央バスナビ バスロケーションシステムの使い方

石狩市内・都市間高速バス(札幌)利用者を対象としたバスロケーションシステムを案内するパンフレットを配布しています。お手持ちのスマートフォンで検索し、利用したいバスを指定すると、バスの現在位置・接近・遅延などの情報が表示されます。また、バスの運行状況を確認することができます。

石狩市から中央バスナビの専用サイトにアクセスできます。

見やすい！
路線・系統・バス種を入力すると、検索したバスが2Dで検索できます。

バス接近情報
バス接近情報から、バスの現在位置・接近・遅延などの情報が表示されます。

運行状況
路線・系統・バス種を入力すると、検索したバスが2Dで検索できます。

時刻表
バス時刻表から、バスの現在位置・接近・遅延などの情報が表示されます。

見やすい！
路線・系統・バス種を入力すると、検索したバスが2Dで検索できます。



石狩南高校 (R2.8.17)



石狩翔陽高校 (R2.8.19)



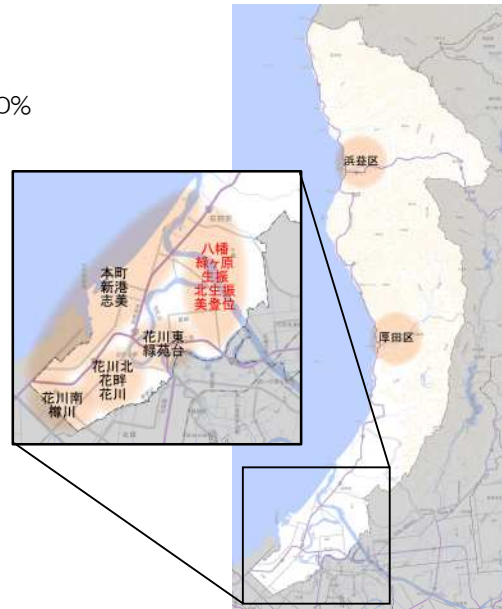
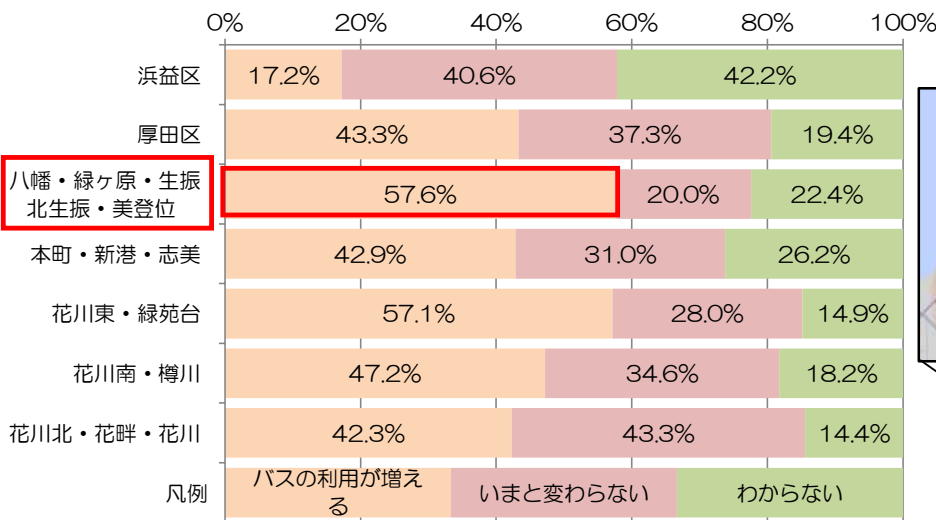
基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

参考

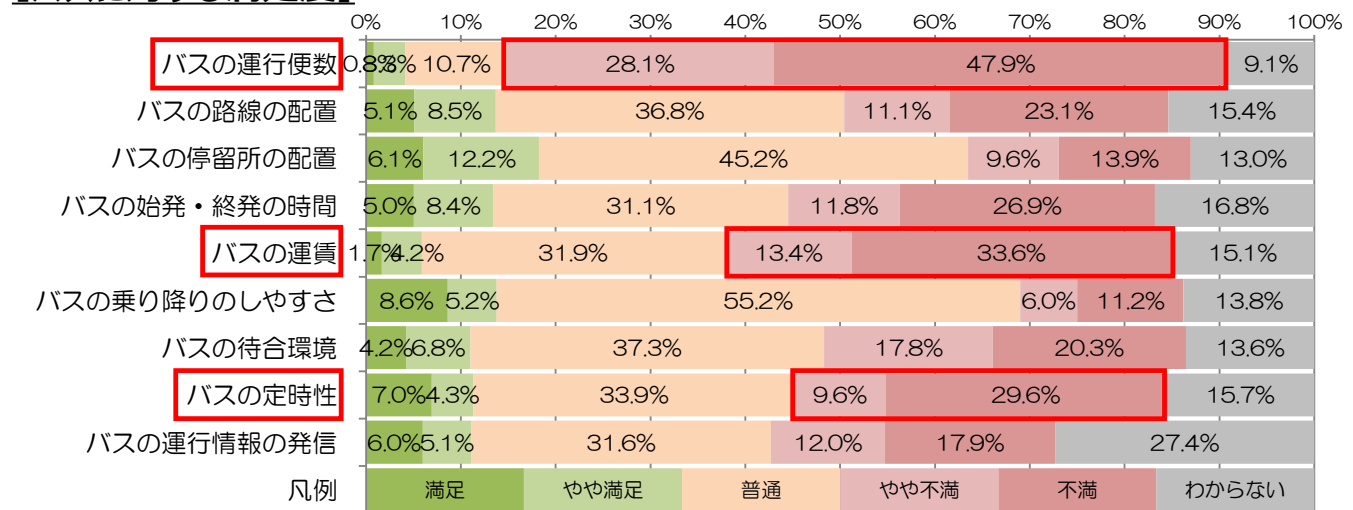
■公共交通の利用意向について

- ・ 八幡・緑ヶ原・生振・北生振・美登位地域の市民は、バスの満足度が向上した場合、約6割と非常に多くの方が、バス利用が増えると回答しています。
- ・ しかし、現状は「バスの運行便数」、「バスの運賃」、「バスの定時性」などに不満を感じている割合が高くなっています。
- ・ 特に「バスの定時性」については、バス事業者のみでなく、北海道開発局・北海道をはじめ各道路管理者との連携による課題解決が重要となります。
- ・ バスの利用増加により、札幌市へ「買い物」に行く市民の割合は約6割、札幌市の「病院」に行く市民の割合は約6割に増加しています。

【満足度向上によるバス利用への変化】

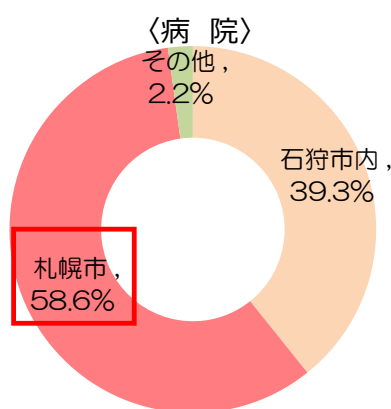
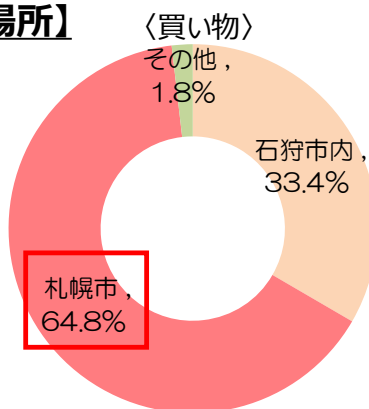


【バスに対する満足度】



※八幡・緑ヶ原・生振・北生振・美登位地区を対象

【バスで行きたい場所】

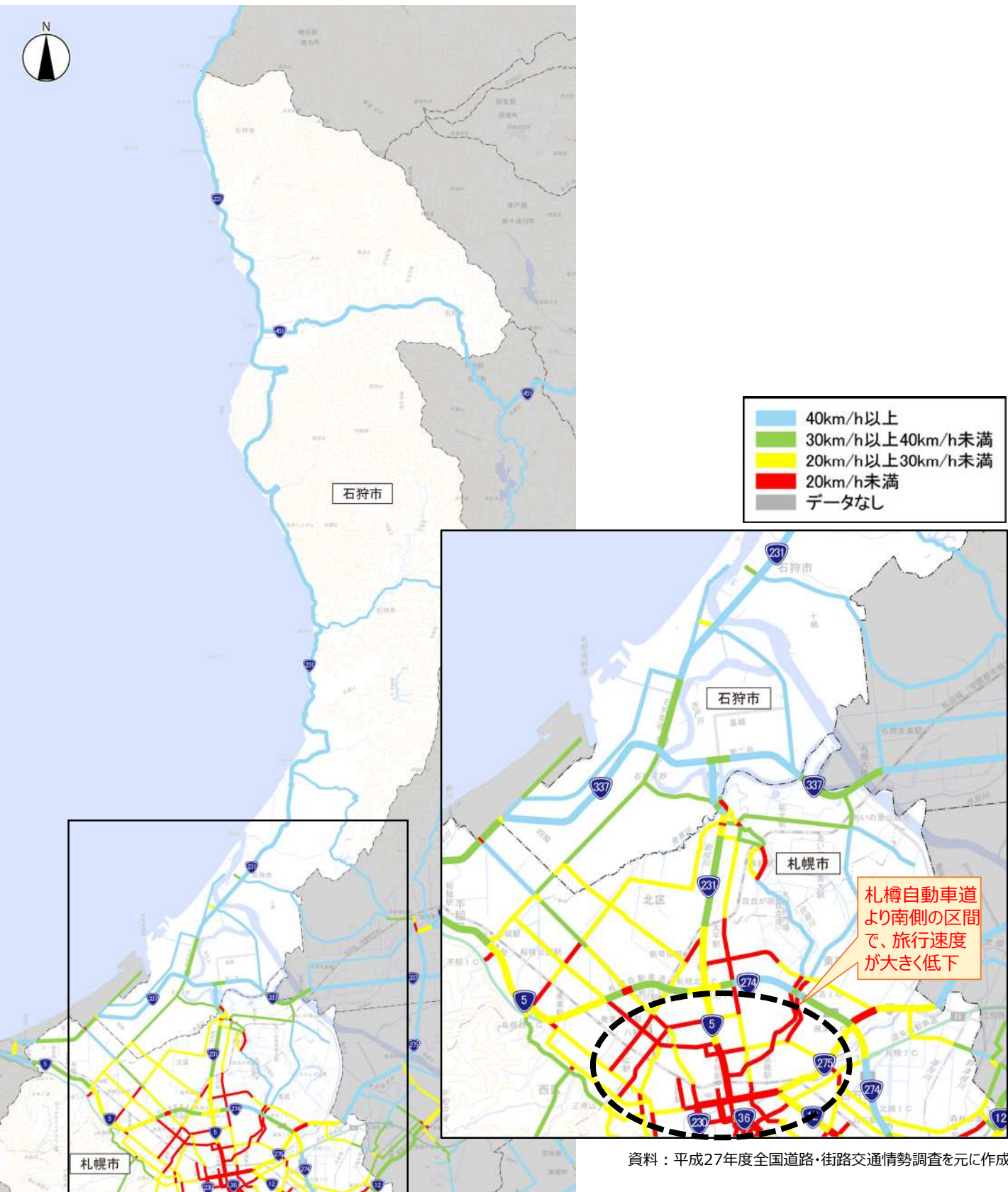




■公共交通の満足度向上に向けた課題箇所

- 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査を元に、石狩市・札幌市北部の旅行速度の状況を見ると、特に札幌自動車道より南側の区間で、旅行速度が大きく低下しており、「バスの定時性」低下の大きな要因であると考えられます。

【旅行速度（石狩市、札幌市北部）】



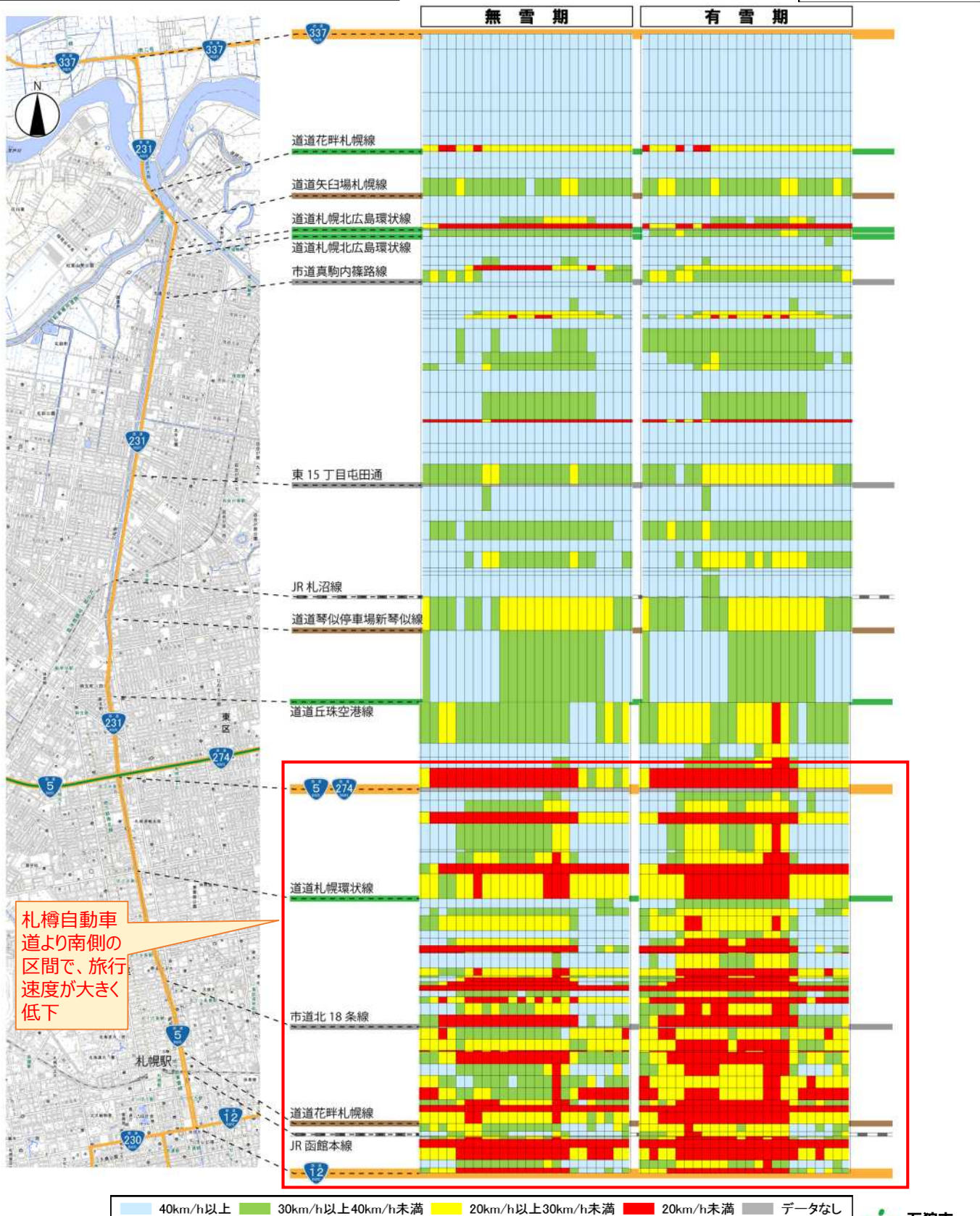
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査を元に作成



■公共交通の満足度向上に向けた課題の特定

- 市民のバス利用意向における「札幌市へのアクセス向上」を考慮し、石狩市～札幌市を結ぶバス路線のうち、国道231号と国道5号の詳細な旅行速度について分析を行いました。
- 前ページと同様に、特に札幌自動車道より南側の区間で、旅行速度が大きく低下しており、「バスの定時性」悪化の大きな要因であると考えられます。

【旅行速度（国道231号、国道5号）】



40km/h以上 30km/h以上40km/h未満 20km/h以上30km/h未満 20km/h未満 データなし

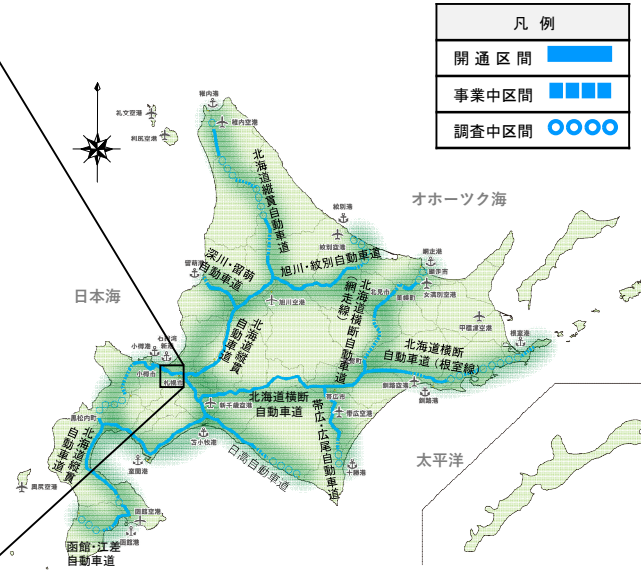
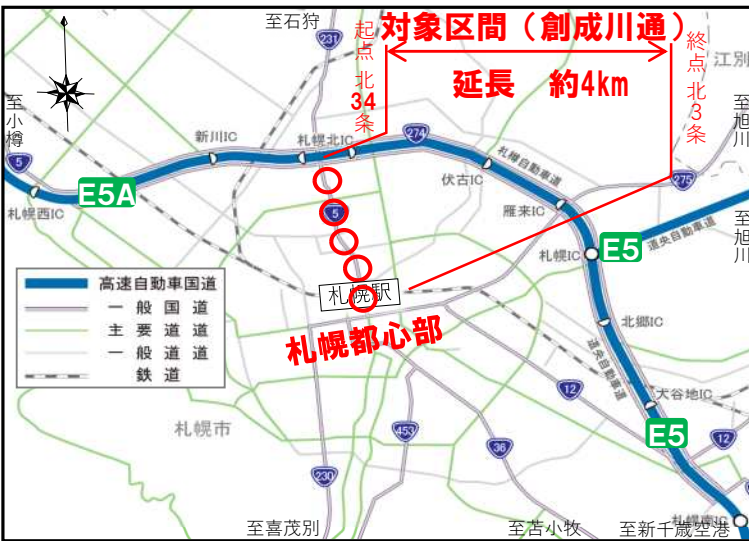


■課題解消に対する施策

①対象箇所

- 北海道開発局において、札幌自動車道より南側の区間の旅行速度低下などの課題解消を図るため、「一般国道5号創成川通」の機能強化が検討されています。

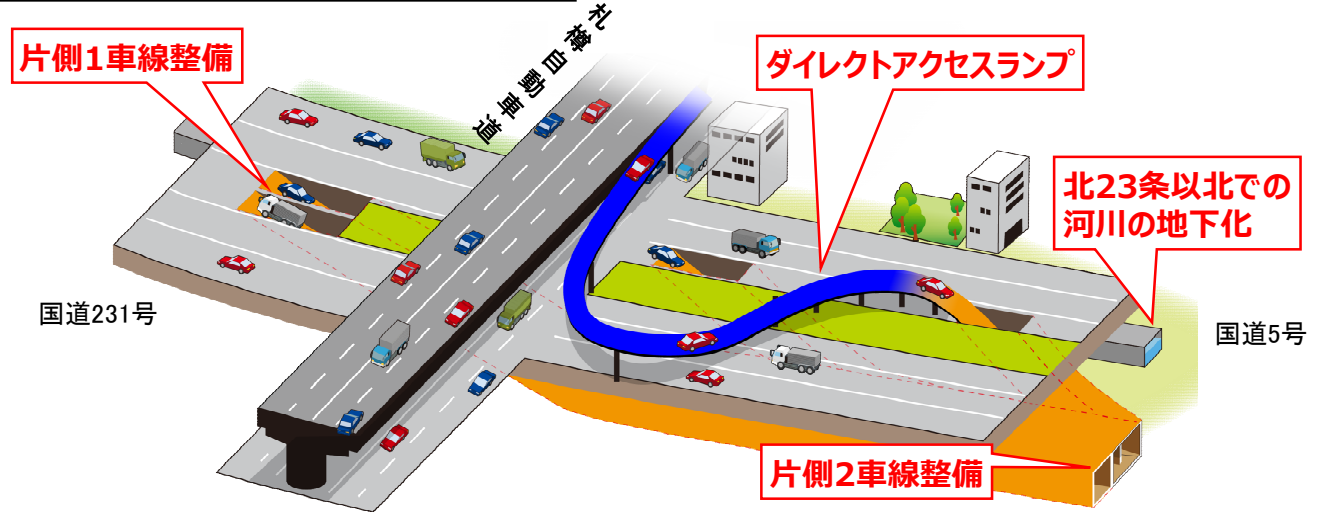
【対象箇所】



②対策案の検討（地下整備案）

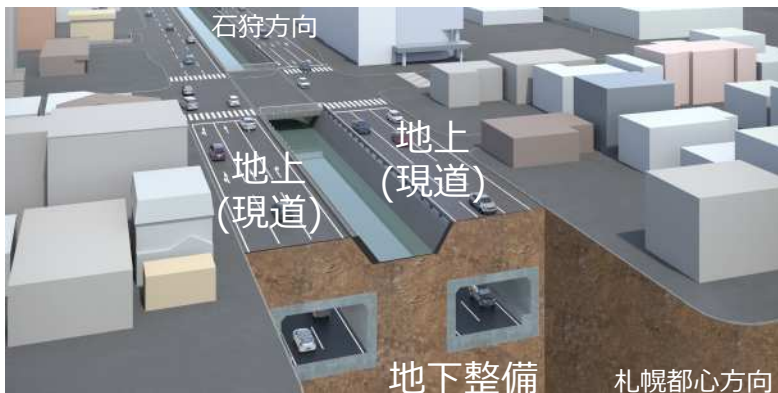
- 一般国道5号創成川通は令和2年2月27日に開催された社会資本整備審議会道路分科会北海道地方小委員会にて、対応方針（案）について地下構造で全線別線整備を行う「地下整備案」で実施することが決まっております。

【平面イメージ図（札幌北IC付近）】



注）上記は計画案の整備イメージを概略で示したものであり、詳細な構造を確定したものではありません。

【CGイメージ図】



注）CGイメージ図は整備の内容を分かりやすくするために現在の道路に構造物を分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。



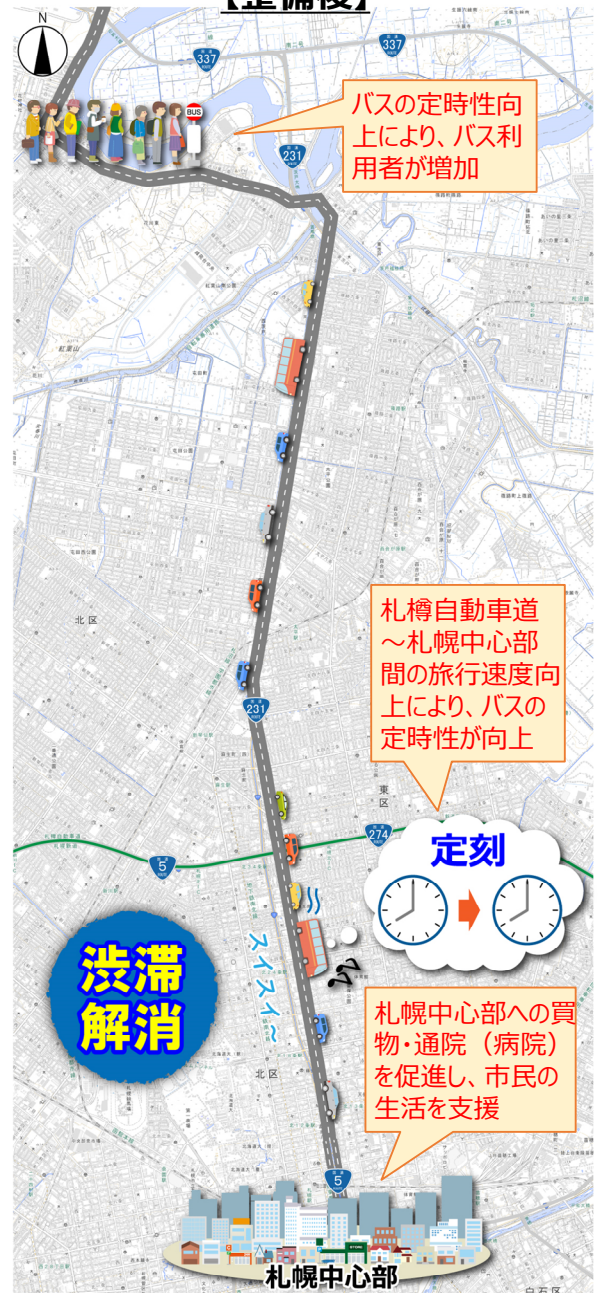
③対策案の整備効果

- 「一般国道5号創成川通」の機能強化で、渋滞解消による旅行速度向上が期待され、バスの定時性向上が見込まれます。
- バスの定時性向上により、市民の意向であるバス利用の増加、札幌市への通院（病院）及び買物の増加が期待されます。

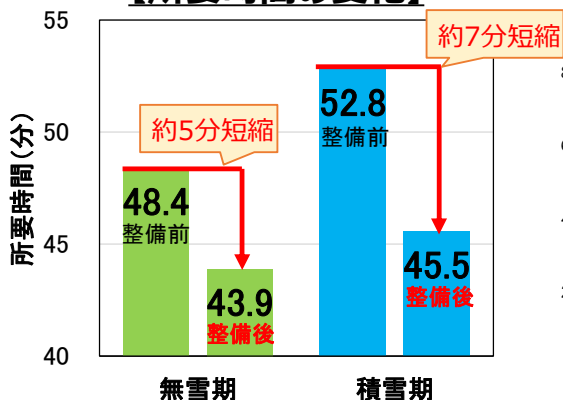
【整備前】



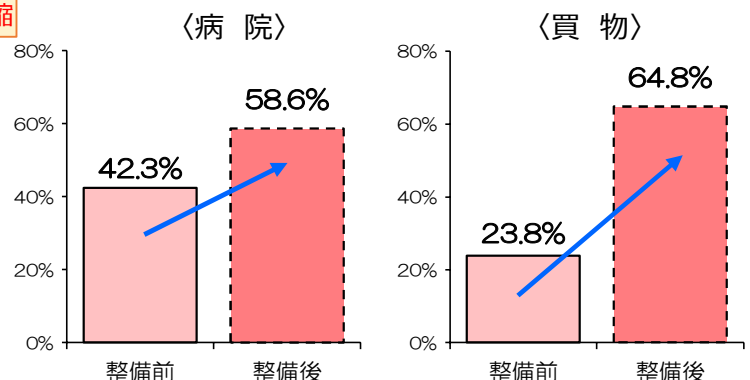
【整備後】



【所要時間の変化】



【札幌市への移動割合の変化】



資料：バスロケーションシステムにより独自調べ、茨戸耕北橋～札幌ターミナル間を対象、整備後は札幌自動車道以南の区間はバスダイヤ通り運行するとして時間を算出

資料：石狩市民アンケート調査（2018年8月）を元に作成